

予算科目	注1) 事業分類	新規/既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導 宣伝	2	既存	健康管理講習会	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	事業所担当者を対象に、専門職から健康情報に関するセミナーを年1回以上実施する。	643	-	-	-	-	疾病予防、健康増進を目指し健康情報を周知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。</li> <li>・生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。</li> <li>・20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。</li> <li>・リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。</li> <li>・21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。</li> <li>・疾病別医療費構成割合で、メンタル疾患の医療費は全体の2.3%を占めており、他組合平均の1.5%より高い。</li> <li>・他組合よりメンタル疾患の受療率が高く、経年で増加傾向にある。</li> <li>・他組合と比較し、被保険者・被扶養者ともに運動をしていない者の割合が高い。</li> <li>・2022年度の回答で生活習慣改善の意思なしと答えた方の割合が男性被保険者28.1%、女性被保険者21.6%であった。</li> </ul>
														継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		
														開催回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年1回以上開催						
1,2	既存	保健事業委員会	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	保健事業の運営に関する協議を年2回以上実施する。	132	-	-	-	-	加入者の意見を収集し、保健事業の効率的な運営を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。</li> <li>・生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。</li> <li>・20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。</li> <li>・リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。</li> <li>・21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。</li> </ul>	
													継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			
													実施回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-							
加入者への意識づけ																				
													8,982	-	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラチャータン分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
保健指導宣伝	2,5	既存	機関紙発行	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	4月、10月の2回発行する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	健康保険法、保健事業、健康情報を分かりやすく発信する事により、健康に関する知識を周知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。</li> <li>生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。</li> <li>20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。</li> <li>リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。</li> <li>21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。</li> <li>疾病別医療費構成割合で、メンタル疾患の医療費は全体の2.3%を占めており、他組合平均の1.5%より高い。</li> <li>他組合よりメンタル疾患の受療率が高く、経年で増加傾向にある。</li> <li>他組合と比較し、被保険者・被扶養者ともに運動をしていない者の割合が高い。</li> <li>2022年度の回答で生活習慣改善の意思なしと答えた方の割合が男性被保険者28.1%、女性被保険者21.6%であった。</li> </ul>	
	発行回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													-					(アウトカムは設定されていません)		
	2	既存	「赤ちゃん！」「ラスタス」の配布	全て	女性	18～74	基準該当者	1	ス	-	シ	-	全対象者へ配布する。	1,740	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	出産・育児情報を分かりやすく発信する事により、育児知識の向上を促す	<ul style="list-style-type: none"> <li>15歳以下のうち、2歳～6歳の年齢層の受療率が87～93%と高い。</li> <li>インフルエンザの受療者数を年齢層別でみると0歳～9歳が多くを占める。</li> <li>0～19歳の被扶養者において、歯科の受診率が高い。</li> </ul>
	配布実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													-					(アウトカムは設定されていません)		
	2	新規	「つよい子になるぞ！キャンペーン」の実施	全て	男女	4～6	被扶養者	1	キ	-	シ	-	・ホームページ、機関紙でキャンペーンの周知を実施。	1,282	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	乳幼児医療制度の周知及びうがい、手洗い、歯磨き習慣づくり。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザの受療率は、20、21年度で激減していたが、22年度では増加傾向にある。</li> <li>15歳以下のうち、2歳～6歳の年齢層の受療率が87～93%と高い。</li> <li>インフルエンザの受療者数を年齢層別でみると0歳～9歳が多くを占める。</li> <li>0～19歳の被扶養者において、歯科の受診率が高い。</li> </ul>
配布実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													うがい、手洗い、歯磨きの習慣化(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：56% 令和7年度：58% 令和8年度：60% 令和9年度：62% 令和10年度：64% 令和11年度：66%)アンケート：「うがい・手洗い・歯磨きが習慣化できた」の「できた・ある程度できた」の計。								
													4,096								



予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラチャータ分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
	2	既存	家族向け健診受診勧奨	全て	男女	0～74	被扶養者	3	キ、ケ	-	ア	-	年1回、事業参加を希望する事業所の被扶養配偶者を対象に、健診受診勧奨のお手紙を配布する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	当組合の助成金制度の周知・健診受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。</li> <li>21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関に受診している者が47.3%存在する。</li> <li>新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。</li> <li>全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。</li> <li>生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。</li> <li>20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。</li> <li>リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。</li> <li>21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。</li> <li>高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める</li> <li>22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。</li> <li>新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。</li> </ul>
受診勧奨の案内配布数【実績値】1,659人 【目標値】令和6年度：1,700人 令和7年度：1,750人 令和8年度：1,800人 令和9年度：1,850人 令和10年度：1,900人 令和11年度：2,000人)-												被扶養者特定健診受診率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：55% 令和7年度：56% 令和8年度：57% 令和9年度：58% 令和10年度：59% 令和11年度：60%）※40歳以上									
	2,5	新規	ポリファーマシー対策	全て	男女	0～74	基準該当者	1	キ	-	シ	-	多剤投与者に対し、注意喚起の通知を送付する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	多剤投与者に対し、適正な服薬を促す	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康被害や有害事象が増加すると言われる6剤以上の処方者が被保険者で594人、被扶養者で282人存在する。</li> </ul>	
紙媒体での差額通知発送回数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												多剤投与者（10剤以上）数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：130人 令和7年度：125人 令和8年度：120人 令和9年度：115人 令和10年度：110人 令和11年度：105人)-									
個別の事業																					
	3	既存（法定）	特定健診	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ケ	-	ア	-	①健診未受診者への督促を実施。 ②被扶養者への健診受診勧奨を実施 ③特定健診実施者に対し、助成する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病を早期発見し、治療につなげる。</li> <li>生活習慣病の予防。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。</li> <li>生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。</li> <li>20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。</li> <li>リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。</li> <li>21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。</li> <li>被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。</li> <li>21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関に受診している者が47.3%存在する。</li> <li>新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。</li> </ul>	
健診受診率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90%）特定健診、一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、共同巡回健診、全国巡回健診の受診率の合計。												特定保健指導対象者率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：23% 令和7年度：22% 令和8年度：21% 令和9年度：20% 令和10年度：19% 令和11年度：18%)-									
												4,850									